

衆議院議員 泉田裕彦通信

Izu Merida

いずめりだ

自民党新潟県第5選挙区支部／泉田裕彦後援会／泉田裕彦 政治経済防災研究会 会報 VOL.4 20190907

まだ間に合う、日本でもできる効果的な少子化対策

～世界では～北欧やフランスなど少子化対策成功と言われている国もあります。これらの国は10年程で合計特殊出生率を1.5から2.0付近まで戻すことに成功しています。

～私の父親（昭和一桁生）は7人兄弟～ですが、当時は9人兄弟も珍しくはありませんでした。この背景には、軍部が「産めよ増せよ」と奨励したからというだけではなかったと考えています。そこには、やはり経済合理性がありました。私が育てられる時には、こう言われたものでした。『いいか、お前大きくなったら親の面倒を見るんだぞ』と。つまり苦勞して子育てをすると親は老後に仕送りが増えるという経済的メリットもあったということだろうと思います。当時は農家が多かったこともあり子供の数が増えることは仕事を手伝う人数が増えるというメリットもあった訳です。

～年金による政策誘導～ そこで改めて世界の政策をみるとフランス、北欧は年金制度で少子化対策を実施した成果という部分があります。これらの国では3人目の子どもを育てあげると年金額の増加する仕組みになっています。我が国の年金制度もこれに倣うべきではないかと思えます。例えば、現在の国民年金月額約6万円を3人目以降を育てると1人あたり月額6万円増やす制度にすると、3人育てて12万円、4人で18万円、5人で24万円の年金額になります。LGBT や子供が産めない夫婦の場合への対応は、例えば、養子で1人目から同様の加算をとする制度設計も考えられます。～年金財源～ 年金支払い時期は約40年後なので、その間子供の数が安定すれば、少子化が進む前提の計算ではなく年金額の増加分は保険料で賄える設計にすれば、追加の予算措置は不要です。～まとめ～ 日本の未来は、子育てによって親も老後安定した生活を送れて、生まれた街で、誇りを持ち、笑顔で親子三代過ごせる国づくりをしていきたいと思えます。

【長岡事務所】〒940-0053 新潟県新潟市長町1-3-4
TEL 0258-89-8506 FAX 0258-89-8509

【国会事務所】〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第二議員会館914号室
TEL 03-3508-7640 FAX 03-3508-3270

(注) 本稿には動画があります。ご関心の方はご参照下さい。

少子化対策への提案
その1



少子化対策への提案
その2

